

学校番号	25	学校名	浜松みをつくし特別支援学校	記載者	池田 昌史
------	----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア①	学び合いの中で 気付き分かって できる授業実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修の充実</li> <li>発達段階や障害特性、指導の系統性等の根拠に裏付けられた授業実践</li> <li>一人一人のコミュニケーション方法の拡充</li> <li>ICT機器の効果的な活用</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>12年間を見通した指導は大変良い。</li> <li>ICT機器は高等部の生徒も使用できるよう十分な台数が必要である。</li> </ul>
ア②	豊かでしなやかな心と健やかな体を育む取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導や食育、体育等の児童生徒の心や体への理解や成長を促す取組の推進</li> <li>多様な他者との関わりの中で学ぶ機会の充実</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は指導計画の定期的な見直し、外部指導者の知識を教員の指導に生かす、特性に応じた摂食指導について研修を行いたい。</li> </ul>
ア③	今を大切に、将来の夢に向かって進むキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の「好き」や「得意」を見つけ、広げ、家庭と共有する</li> <li>12年間や将来の生活を見通した、家庭と連携したキャリア教育の推進</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の職業実習を迎える前に実習先の情報を十分に提供するとよい。</li> <li>卒業生にも調査し本校の指導が卒業後に生きているか調べると良い。</li> </ul>
イ①	事故や災害等への未然防止と対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康及び安全に配慮した環境整備やヒヤリハットの共有等、未然防止の取組の充実</li> <li>実行性のある各種マニュアルの活用と改善</li> <li>事務部と各学部、各分掌との連携</li> <li>児童生徒が自他の命を大切にす安全教育の推進</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が避難所での生活を想定できるよう情報提供しておくとうい。</li> <li>訓練を予告なしで行うなど教員が想定外にも柔軟に対応できる力をつけておくとうい。</li> </ul>
イ②	誰もが安心して生活できる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒にとってわかりやすく居心地の良い環境づくり</li> <li>発達支持的生徒指導の充実</li> <li>「働きがい」と「働きやすさ」を両立した職場環境づくり</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒同士もお互いの良さを認め合う機会を増やしたい。</li> </ul>
ウ①	共生社会の礎を築く「共生・共育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流活動の充実</li> <li>本校の教育活動の発信による理解啓発の促進</li> <li>センター的機能の発揮</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の取組をもとに来年度も成果がでるよう取り組みたい。</li> </ul>
ウ②	自立と社会参加に向けた地域社会との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会による学校支援体制の充実</li> <li>地域社会の人的・物的資源の活用</li> <li>効果的な関係機関等との連携</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールサポーターにより軽減できた教員の業務量を、年度当初と比べて示すと良い。</li> </ul>